



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

3

No. 607



まちひと百景

上手な人と競争したいな！

1月29日(日)に緑ヶ丘スキー場で開催された冬季スポーツの体験教室では、ユニバーシアードスペイン大会で総合優勝など輝かしい功績をもった川口城二さんが子ども達の指導にあたった。

川口さんの滑りを見て子ども達は、「競争したいな」と一言ポツリ。

川口さんと実際に競争することはできなかったが、上手な人から何かを得ようと視線を送る子ども達にちょっぴりたくましさを感じたひとコマだった。

- 管内アンサンブルコンクールで金賞ほか…2
- 小中学校配置計画に伴う住民説明会ほか…3
- とままえ落語会ほか…4
- 学校支援ボランティア研修会ほか…5
- 国民年金・文芸…6
- 国民健康保険・後期高齢者医療ガイド…7
- 健康ばんざい…8
- 学びの広場…9
- 住まいる情報…10～11
- ちびっこギャラリー…12

まちの人口

人口/3,561人(男/1,689人:女/1,872人)
世帯数/1,634世帯 (2月29日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

留萌管内アンサンブルコンクール 個人木管楽器高校の部で金賞受賞！全道大会へ！

1月15日(日)に留萌市文化センターで開催された留萌地区吹奏楽連盟・留萌地方中学校体育文化連盟主催の留萌地区管楽個人・アンサンブルコンクールの個人木管楽器高校の部に出場した苦前商業高等学校(小笠原茂美校長)吹奏楽部2年の小川一海さんが見事金賞を受賞、その中で1名に権利がある全道大会への出場を決め、同校の吹奏楽発足初年度に快挙を達成した。

小川さんは羽幌町出身で現在も通学しており、羽幌中学校時代にはバリトンサックスを担当していた。苦前商業高等学校に進学も当時は吹奏楽部がなかったため、吹奏楽同好会発足に奔走。同好会結成後、自身はあこがれもあつたアルトサックスに楽器を替え活動を行った。吹奏楽同好会として臨んだ昨年の同コンクールでは、借り物の楽器であったことやピアノ伴奏者がいなかったことなどの困難に見舞われるも、羽幌町内のピアノ教室に通う小学生に伴奏を依頼、ピアノと合わせ練習も週1回程度し

かできない状況で同コンクールに出場、金賞は受賞できたものの、全道大会出場の名には選ばれなかった。今回はその雪辱を果たすため、冬休み中は午前9時から午後3時までほぼ毎日ときには居残り練習などを行い本番に臨んだ。



「チャルダッシュ」、伴奏も同校吹奏楽部1年の伊藤菜緒さんが務めたコンクールでは、小川さんも「後の演奏者に見せつけてやる」という意気込みで演奏、全道大会出場者で自分の名前が呼ばれたときは「これまで応援してくれた人のことが頭をよぎり本当にうれしかった」と笑顔で語った。

次は2月11日(土)に室蘭市で開催される全道大会に出場するが、「検定や補習授業などが続きあまり練習できないけど、全力を出して金賞を目指したい」と意欲を覗かせていた。

短期留学先のカナダから帰国 ～苦前商業高等学校2年生の水戸榛那さん～

12月23日から8日間ホームステイを行いながら英語のレッスンをや施設見学・ショッピングなど様々なことを体験できた報告、その中でも水戸さんは「日本との違う文化を学ぶために行ったが、あまりの違いに驚いた。きれいな町並みでクリスマスイルミネーションが町全体を覆っていてきれいだ」と写真を添えて感想を語った。

1月26日(木)に苦前商業高等学校の国際交流事業でカナダに短期留学していた水戸榛那さんが森利男町長に報告を兼ねて表敬訪問を行った。



職の垣根を飛び越えて！ ～商工会青年部による異業種交流会開催～



参加者は難しいといながらも、ときには笑いが起きる会場で頭を悩ませている。講師は学校法人旭川宝田学園旭川明成高等学校職員でユニバーシアードスぺイン大会総合で優勝などの経歴をもつ川口城二さんが務めた。

苦前町商工会青年部主催の異業種交流研修会が1月27日(金)に公民館で開催され、農協青年部と商工青年部あわせて16名がグループワークなどを通して交流を図った。

アスリートから教えてもらおう！ ～冬季スポーツの体験教室～

また、参加者からの質問にも丁寧に答えていた。

1月29日(日)に古丹別緑ヶ丘スキー場で北海道教育委員会主催の冬季スポーツ普及啓発事業「冬季スポーツの体験教室」が、児童生徒や町内スキー少年団指導者などあわせて約60名が参加し開催された。



子どものよりよい教育環境を一番に

～町内小中学校配置計画に伴う住民説明会・古丹別立学校建設検討委員会を開催～



1月26日(木)に公民館で町内小中学校配置計画に伴う住民説明会が開催され一般住民23名が参加した。「なぜ今、町内小中学校の配置計画を検討するのか」の説明では、両中学校はすでに耐震化済みであるが、両小学校は耐震診断を実施しておらず、現在の校舎に耐震補強を行っても新築するより多くの費用がかかる可能性があること。また、本町の児童生徒の推移などを見ても減少傾向が続くため、校舎の単独建替、統合など様々な学校のあり方について検討した方がよいことから、住民説明会の開催となった。

町教育委員会としては「あくまで子ども達にとって一番よい方法で」との投げかけに、参加者からは統合や存続との二分する意見が出されたほか、「今、児童生徒を持つ親の声をしっかりと聞いた方がよい」など多くの意見が寄せられた。これらの意見は後日開催される「学校建設検討委員会」で伝えられ、今後協議していくこととなった。

その後、1月31日(火)に役場大会議室で古丹別立学校建設検討委員会が公開で開催され、検討委員や傍聴者なども含め約30名が参加した。

委員長には古丹別中学校PTA代表の尾泉義博さん、副委員長には古前・古丹別両町内会の会長である斉数範章さん、大矢根正春さんが選出された。

尾泉委員長は「住民説明会などの様々な意見を集約し、検討委員会の中でまとめていきたい。いろいろな意見を聞きながら子どもの教育に一番いい方法をまとめていきたい」と挨拶を述べた。同委員会では今後のスケジュールや教育委員会での協議経過、庁内関係課ワーキンググループなどの報告そして過日開催された住民説明会でも出された意見などについて事務局より報告された。

町教育委員会では住民説明会でも出されていた「今、児童生徒を持つ親の声を聞いた方がよい」との意見から、「児童生徒をもつ親の意見を聞く機会として申し出があれば対応したい」との方



協議内容について公表します

住民説明会・学校建設検討委員会で協議された内容は、町ホームページで公開するほか、役場庁舎・古丹別支所に会議録を設置し、広く住民の皆様に公表します。

資料は、会議終了後会議録がまとまり次第順次公開していく予定ですので、よろしくお願ひいたします。

教育委員会管理課

針を出した。また、本年度中に予定していた配置計画(案)の町長への提言を、6月いっぱいを目途にしていくなどのスケジュール変更を行った。

生命保険の基礎を知ろう ～公民館講座・消費者講座「生命保険の基礎知識」～



1月30日(月)に公民館で公民館・消費者講座の「生命保険の基礎知識」が一般住民24名が参加し開催された。

生命保険文化センターの加藤登美夫さんが講師として生命保険の基礎と保険商品の選び方などの説明が行われた。

加藤さんは「例えば単身者はケガや入院などに備える、家族持ちは万が一のときに残された者に備える、夫婦のみは入院や介護など生きるために備えるなど人生の段階にあった保険を選び、社会保険の不足分を補完できるように」とアドバイス。

そして、「保険は健康なときにしか入れない。掛金がムダにならぬよう、本当に必要なものだけ入れること。保険証書を見直してほしい」と述べ、参加者も大きく頷いていた。

おにはそと、ふくはうち ～古丹別保育所で豆まき～



2月3日(金)の節分にあわせて古丹別保育所(川森のり子所長)で豆まきが行われ、園児たちが自分たちで作った鬼のお面をかぶって豆まきを楽しんだ。

最初に豆まきのアニメーションDVDを鑑賞した後、園児たちの中にある泣き虫鬼、好き嫌い鬼などを追いつため互いに豆をまいた。

突如、鬼が入ってくると、年長組の園児は余裕の表情で鬼に豆をぶつけていたが、年少組の園児は手に持った豆も忘れ逃げまどう子や泣いてしまう子もいたが、やがて鬼も降参、お面を脱ぎ川森所長が見ると園児たちは一安心。ホール一面に落ちていた豆を拾い集めたあと配布された豆やお菓子をおいしそうにほおばっていた。

この時期恒例のひと笑い ～とままえ落語会～



2月4日(土)に公民館ステージ上特設会場でこの時期恒例のとままえ落語会が約70名の来場で開催された。出演は、本町での公演8年目となる柳家さん喬師匠と漫才グループのロケット団の2組。ロケット団は寄席を中心に活動を続け、時事ネタを取り込んだテンポのある漫才で注目を集めているコンビ。

さん喬師匠が「家見舞い」「湯屋番」を披露した後、中入りでお茶とようかんのサービスも実施。

中入りあけではロケット団がテンポのよい漫才を披露、締めはさん喬師匠が再び登場、「百年目」は船場の商家を舞台に多くの人物が登場するネタ。それを見事に演じたさん喬師匠に来場者から大きな拍手を受けていた。

高齢者宅の除雪に支援の輪 ～事業所・団体・学校などがボランティアで除雪～

町内の事業所や団体、学校などによる高齢者世帯への除雪ボランティアの支援が1月下旬より各地域で実施された。

1月28日(土)の橋場産業株式会社(奥山和彦代表取締役)のボランティア組織の橋緑会が古丹別市街4世帯の除雪を実施したのを皮切りに、2月4日(土)には東北建設株式会社(菊池浩代表取締役)も古丹別市街4世帯を、2月5日(日)には町消防団苦前分団(佐藤利幸分団長)が苦前地区6世帯、同力昼分団(佐藤勉分団長)が力昼市街6世帯を、そして2月6日(月)には萌州建設株式会社(秋山貴人執行役員苦前支店長)が苦前地区3世帯を実施した。

2月7日(火)には苦前商業高等学校(小笠原茂美校長)の1・2年生が古丹別



市街の5世帯、2月11日(土)は古丹別中学校(北村安雄校長)が古丹別市街の6世帯、2月14日(火)には苦前中学校(外山一正校長)が苦前市街6世帯をベランダや窓際に降り積もった大量の雪に悪戦苦闘しながらも実施した。

一番大変だったのは2月12日(日)に古丹別市街6世帯を実施した町消防団古丹別分団(桧森光夫分団長)。

この日は激しい吹雪が続き、国道232号線は天塩町から苦前町の間で通行止めになるほどの悪天候の中実施された。

いづれも事故なく、積もっていた雪も取り除かれひと安心だが、作業を行った人は「雪はもうウンザリ」といった様子だった。

今年は大漁に、今年も安全に ～大漁祈願祭・船霊祭～

2月4日(土)に苦前漁業連合部会(岩澤正幸部会長)と大漁祈願祭執行委員会(小野善市執行委員長)主催の大漁祈願祭と船霊祭がとままえ温泉ふわっとで開催され、苦前・力昼地区の船主、北るもい漁業協同組合関係者や森町長ら来賓などあわせて55名が参加した。

祭事では祝詞奏上、玉串奉奠を行い、今年の大漁と操業の安全を祈願した後、小野執行委員長が「東日本大震災によりホタテの半生貝の出荷や外来船の減少により売上が減少したが、今年売上高16億2千3百万円を目標としたい。努力を惜しまず行えば、計画達成ができる」と信じている」と述べ、組合員や組合関係者に奮起を促した。



雪あそびに子ども達の歓声響く ～カンガルースクール・とままえふるさと塾～



2月5日(日)に公民館前で1歳から就学前の幼児を対象としたのびのびサークル・カンガルースクールが開催され、親子12組27名が参加した。

公民館前には家庭教育サポート企業の渡部工業株式会社(渡部和人代表取締役)が土台を、橋場産業株式会社がアニメーションのトトロの雪像を製作、この日にお披露目をした。

参加した幼児達は寒さが厳しい中でも元氣よく、肥料袋を片手に坂に上り、何度も滑り降りていた。

また、野球場ではとままえふるさと塾を開催、小学生21名がスノーモビルでソリを引きコースを1周する、スノーラフティングを楽しんだ。

国民年金



平成二十四年十月一日より三年間、後納保険料の納付ができません

昨年八月十日に公布された年金確保支援法では、国民年金に關して時効により納付できなくなった一定期間の保険料を、本人の希望により納付することを可能とする取扱いが盛り込まれています。

この取扱いは、平成二十四年十月一日から三年間に限って実施されることが決まりました。

保険料の後納の特例措置

国民年金の保険料は、翌月末日までに納付しなければなりません。また、保険料を滞納した場合には、二年前までさかのぼって納付することができず、二年を経過すると時効により納付することができません。

ただし、保険料免除の適用を受けたり、学生納付特例や若年者納付猶予の適用を受けた場合には、免除などの適用を受けた期間の保険料の全部または一部を十年前の分までさかのぼって追納することができます。この場合、追納する保険料の額は、三年度以上前の分をさかのぼって納付する場合には、当時の保険料の額に一定の加算が行われます。

今回の特例措置は、この保険

料の追納とは別に、保険料を納め忘れた被保険者を対象にしたもので、今年の十月一日から三年以内の期間に限り時効となつた保険料の納付（後納）ができるようにするものです。

この特例措置により保険料の納め忘れがある人は、厚生労働大臣の承認を受けて平成二十四年十月一日から三年間に限って、過去二年分だけでなく過去十年分までさかのぼって保険料を納付することができます。

この保険料の後納ができるのは、時効によって納付することができない期間分（二年以上前の期間分）の保険料に限られます。そして、保険料の後納の承認を受けるときに時効になつていない二年以内の期間に、保険料の滞納がある場合には、その保険料を先に納付しなければなりません。

また、この保険料の後納を行う場合には、保険料の追納の場合と同様に当時の保険料の額に一定の加算が行われた保険料（後納保険料）を納付することになります。

後納保険料の納付は、先に経過した月分の国民年金保険料（加算が行われた保険料）から順次行います。そして、後納保険料が納付された日に、その納付が行われた月の国民年金の保険料

保育園(所)・学校へ安全に通えるように ~苦前婦人会のマスコットづくり~



町内の保育園(所)や学校に通う子ども達が安全で元気に通えるよう、毎年作成し新入生等に配布しているクマとカエルのマスコットづくりを苦前婦人会(小野章子会長)が福祉センターで行っている。

一つひとつ手縫いで作りを込めながら作成、マスコットも子ども達の元に渡るのを心待ちにしているようだった。

が納付されたものとみなされません。

この保険料の後納によって、第三号被保険者期間の不整合記録により二年以上前の保険料未納期間がある人についても、その期間を保険料納付済期間とすることが可能となります。

なお、すでに老齢基礎年金を受給している人は、対象となりません。

平成24年度特別児童扶養手当及び特別障害者手当等に係る手当額の改定について

○平成24年4月分以降の手当額の改定
特別児童扶養手当、特別障害者手当等の手当額について、全国消費者物価指数が対前年比で0.3パーセント下落したことから平成24年4月分からは次のとおり改定されることとなりました。

手当の種類	24年3月分まで	24年4月分から
特別児童扶養手当1級	50,550円	50,400円
特別児童扶養手当2級	33,670円	33,570円
特別障害者手当	26,340円	26,260円
障害児福祉手当	14,330円	14,280円
福祉手当(経過措置分)	14,330円	14,280円

○特例措置によるかさ上げ分の解消
手当額は現在、特例措置により自動物価スライド制による額より1.7パーセントかさ上げされていますが、平成24年度からの3年間で特例措置の解消が検討されており、法案が成立すれば、平成24年10月分の手当からさらに0.6パーセント引き下げられることとなります。

北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課

「文芸」

(川柳)

風の街 龍風景気 連れて舞い
風の絵に 龍神乗せて 平和込め
龍神の 掛け軸下げて 運と待ら
新年の 龍に期待の 初日の出
被災地の 復興託す 昇り龍

(文責・鎌田)

苦前川柳社

苦前 小島 信子
苦前 齊教 範章
留萌市 芳賀 敦美
札幌市 関 武
苦前 鎌田 信夫